

ごてんば 市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

秋
第119号

2023年11月22日発行



Fall Is The Season For Eating.

酒と食のフェスティバル



Fall Is The Season For The Arts.



Fall Is The Season For Sports.



令和 5 年 10 月 8 日 ごてんばの日に合わせ、市内で各種イベントを開催

- | | |
|------------------------------------|---|
| ■ 議会カフェ、[行政視察報告] 総務委員会 …………… 2 | ■ 意見書、全体管内研修 …………… 8 |
| ■ [行政視察報告] 福祉文教委員会、経済環境委員会 …………… 3 | ■ 議案の審議結果一覧 …………… 9 |
| ■ 一般質問(8人) …………… 4~7 | ■ 議長日記、御殿場市議会議員選挙のお知らせ、
12月-3月定例会の予定、編集後記 …………… 10 |

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。 問い合わせ／図書館 TEL.0550-82-0391

御殿場市議会

Gotemba City Assembly

発行／御殿場市議会

編集／広報委員会 御殿場市萩原483 TEL.0550-82-4323 FAX.0550-82-4326

御殿場市議会

検索



YouTube

令和5年9月定例会の一部を
録画配信します。

※インターネットへのアクセスが
発生するため、通信料がかかります。

【日 時】 8月24日 午後7時～8時30分
 【場 所】 市役所東館4階 みくりやキッチン
 【参加者】 広報委員会8名と地域の区広報担当者8名
 【形 式】 3つのテーブルに分かれて、セルフサービスのフールドリンクと煎餅を囲んで



開催しました



テーマ

3 1人でも多くの方に
読んでいただくには
どうしたらよいでしょうか

表紙と裏表紙は見るため、関連を
考えてページの編集をしてほしい。

マンガ風に見やすく。

地域に通じた記事
があると親しみを
感じる。

一般質問の
見出しを工夫
してみては。

子どもや市民の
インタビュー記事
も掲載してみては。

一般質問をチャート形式とする。

テーマ

2 どのページを読んで
いただいていますか

知り合いの議員の
一般質問のページ
は読む。

裏表紙の議長日記は読む。

テーマ

1 市議会だよりを読んで
いただいていますか

あまり市議会だより
は読まない。

一般質問のページは字が
多いので読まない。

総務委員会

7/18▶19

行政視察報告

Government Inspection Report

〔視察先：北海道上川郡下川町〕
 SDGsパートナーシップ
 センター拠点構築事業について
 「鉱山の閉鎖」「急激な人口
 の減少」「自然災害」など度重
 なる危機を乗り越え、回復力
 のある地域へと変貌を遂げて
 きた下川町。危機や困難に挑
 戦し続け、持続可能な社会の

の導入が必要と感じた。
 切った発想の転換と民間活力
 対策には旭川市のような思い
 いる。深刻な人口減少に抗う
 民間が作り、行政が運営して
 する施設。ノウハウを持った
 活用した街中の賑わいを創出
 が合致し開設されたICTを
 東日本、劇場オーナーの意向
 ベーションし、自治体、NTT
 ICTパークは、映画館をリノ
 の学習。ICTを活用した各
 分野の「賑わい創出」「人材育
 成」等々の目的で開発された
 ICTパークの現状視察。ICT
 人口減少対策としての施策

開設について
 ICTを活用した賑わい創出
 と人材育成ICTパークの



下川町SDGsパートナーシップセンターにて

総務委員長

勝間田博文

実現を目指す下川町の取り組
 みについて学習。「2030年
 における下川町のありたい
 姿」の7つのゴールを策定し、
 「下川版SDGs」としてまち
 づくり・地域活性化のツール
 として活用。「森林総合産業構
 築」「超高齢化対応社会構築」
 「エネルギー自給と低炭素化」
 として経済・社会・環境の3側
 面をコンセプトとして取り組
 んでいる。下川町の「背水の
 陣」で存続をかけて策定した
 地域活性化のための計画や実
 行性のある取組みは大いに参
 考となった。

※ デジタル・シティズンシップ パソコンやインターネット等の自律的な利用を通じて積極的に社会に参加し、貢献するための知識や能力を育む教育



四国中央市立川之江小学校にて

【視察先：香川県坂出市】
高齢者保健・介護予防一体化
事業について

市民の健康寿命延伸、医療・介護の医療費抑制などのため、本事業の必要性を改めて確認することができた。

【視察先：愛媛県四国中央市】
ICT(教育)の活用、※デジタル・
シティズンシップについて

時代を考える力とそれに対応する自治体の総力、未来への情熱を強く感じた。ガラス張りの開かれた先進的教育行政を推進することが重要と考える。市民と一体となった社会総掛かりの推進体制を確立することが大事。また、グループやロイロノートなどの民間企業との連携は少なくとも必要と考える。

【視察先：愛媛県松山市】
教育支援センターの「不登校
総合推進事業」について

子どもたちを「社会復帰すること」を目標に心理判定員など、豊富な経験と知識を持った職員を配置し、さまざまな悩みを抱える児童生徒や保護者を支援し、松山市子ども総合相談センター事務所と連携している。

誰一人取り残すことのない学習環境の整備を推し進めていくには、将来を担う子どもたちが抱える課題・問題を一つ一つ丁寧に解決していくことが大切であると感じた。

【視察先：愛媛県松山市】
学校部活動の地域移行について

スポーツ庁の地域部活動モデル事業を実施した松山市において、休日の部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究の成果などを学んだ。部活動の意義、位置付けの明確化が必要である。

福祉文教委員長 川上 秀範

Government Inspection Report

【視察先：北海道北広島市】
ボールパーク構想について

野球がない時でも楽しめる施設として「エスコンフィールド北海道」などを視察した。北広島市は、この施設を通し、まちづくりを推進し、民間からの提案をなるべく形にするよう、税金の優遇、規制の緩和など徹底して民間を応援している。

担当者からまちづくりの意気込みを感じ、民間に寄り添う姿勢は感動すら覚えた。



北広島市役所にて

【視察先：北海道札幌市】
スポーツ「ミッショントーク」

札幌市は、スポーツ参画人口の拡大を目指し①する「大会・合宿誘致」②みる「ツーリズム」③ささえる「ボランティア」と分けて考えていた。この考え方は取り入れるべきである。

【視察先：北海道夕張郡長沼町】
グリーン・ツーリズムについて

長沼町は人口約1万人で、農業が基幹産業の町。卒業旅行を中心に農業体験を観光化している。

本市の農家民宿は現在7軒であるが、インバウンドなども期待されていることから、長沼町グリーン・ツーリズムを見習って農家民宿が増えることを望む。

【視察先：北海道恵庭市】
花の拠点になふるについて

新千歳空港から電車で5分程度の恵庭市にある「花の拠点はなふる」は花を中心に置いた施設。令和4年に大規模改修を行い、132万人の入込客数を記録し、核となる施設の売り上げは改修前より5億円増加した。

富士山と花は相性がピッタリ。首都圏から近い雄大なガーデンとして「富士山と花の駅」を提案したい。

経済環境委員長 林 義浩



田代 耕一
こういち

至誠



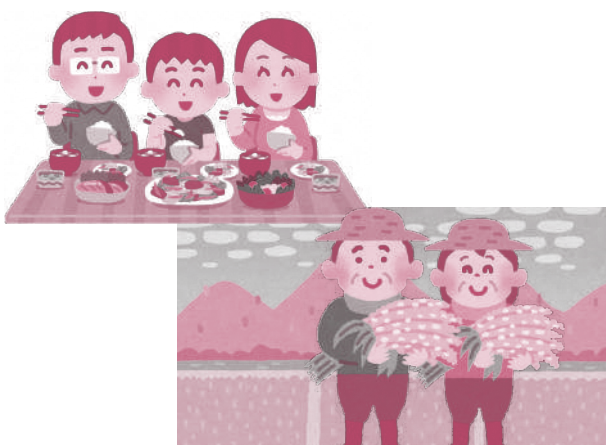
御殿場市の未来の農業をどう展開していくのか

問 農業者の減少や高齢化など、担い手の減少が進む中、様々な施策を効果的に講じる方法を伺う。

答 これからは「地域計画」として多くの農業関係者が一体となって地域で話し合いの場を設け、「今、耕されている農地を引き継いでいく」ことができるように話し合いを行い、10年後「この農地を誰が耕作していくのか」一筆ごとに表記した目標地図を作製する「これは未だ取り組んだことのない未来設計図になる。

問 農業政策の今後の展望と支援策を伺う。

答 「スマート農業資機材の導入」や「高付加価値でブランド化された農畜産物」が重要であり「強い農業」の創出が必要。地域農業が抱える課題や問題点を「見える化」し、市内誘致した農業関係の法人が市民を雇用した場合の補助制度の創設等の支援策なども国・県・農協などの関係機関と連携し検討を行う。



問 市長の農業政策の基本姿勢を伺う。

答 今後も水稻栽培を中心にしつつも特徴ある野菜栽培にも注力し、多角的な農業生産、農業経営を推進していくことが本市にマッチした方向性である。さらに、現在計画している「道の駅整備構想」「木のおもちゃ館」「図書館」など大型集客施設と農業の連携も期待している。多面的な恩恵を人々にもたらしてきた農業をしっかりと後世に引き継いでいく。

道の駅整備構想について



黒澤佳寿子
かずこ

新風
ごてんば



本年度の施政のキーワードに経済・観光戦略を掲げている。平成23・27年、令和元年に道の駅整備構想について一般質問をしたが、国の正式登録開始以来30年経過した今も整備されていない。道の駅への期待は大きい。

問 道の駅整備の必要性についての見解。

答 観光・経済活性化の重要拠点、防災機能を有する施設としても必要性は認識している。

問 道の駅施設整備事業の推進方法について

答 当市が主体となり事業を進める。用地は市が確保。整備には民間資本活用も検討。商工会、観光協会、JAふじ伊豆、大手民間企業、静岡県と連携。

問 道の駅的設備の進捗状況について

答 年度全体会議開催。商工会と連携し地権者等への説明会開催。

5年度事業予算を計上し用地調査中。基本構想策定に向けて庁内検討委員会開催、関係機関と事業協力を調整中。供用開始は施設整備工程を想定し概ね5年先の完成を目指す。

問 道の駅整備構想―複合施設を伴う整備構想への見解。

答 御殿場型経済・観光活性化に向けた施設整備を検討。御殿場の魅力・力を全国・世界に発信できる場、御殿場こだわりの推奨品・特産物の販売。地元食材の飲食提供、観光・地元物産・道路交通の情報提供、「ふじのくに静岡」の情報発信、御殿場ならではのおもてなしや富士山等自然を活かした体験など魅力あふれる整備構想を進める。



花の拠点
はなふる

出典:花の拠点はなふる
※北海道恵庭市にある道の駅複合施設



じんの
神野

よしたか
義孝

新政

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



高齢者保健・介護予防の 一体化について

令和4年度から始まった本事業は、医療介護福祉サービスの強化と医療費等の適正化を進める。

問 令和4年度事業の実績は。

答 保健師、栄養士、歯科衛生士の一体化チームを発足して、重症化予防事業として161名に個別支援を実施。各種通いの場に出向き、年間29回の健康教育や健康相談を行った。

問 国保データベースシステムによるデータ分析は。

答 75歳以上の健診受診率が県内1位で、一人当たりの医療費は県平均に比べて低い。肥満やメタボリックシンドロームが多く、腎不全や心疾患、筋骨格系疾患の割合が多い。

問 高齢者保健・介護予防の課題は。

答 肥満や糖尿病の重篤な合併症等にもかかわらず、後期高齢者

対象のプログラムがない。また、病気ではないが、フレイル予防の啓発がより一層必要。

問 事業を効果的に進める取り組みは。

答 今年度から「ごてんば健康マイレージ」に「Gコイン」を活用し500ダラーのポイントを得られ、健康づくりの意識の高い人への後押しとなった。

問 地域の医療関係団体との連携は。

答 在宅の一人暮らし高齢者等が救急連絡先やかかりつけ医等の情報を記入し保管する救急医療情報キットの普及を進めており、少しずつ広がっている。



「ごてんば健康マイレージ」による健康づくり



えみこ
小林恵美子

公明党

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



高齢者福祉計画・介護保険 事業計画について

問 認知症施策の今後の取組について伺う。

答 認知症の方とその家族に早期から寄り添い、ニーズに応じた支援を行う「チームオレンジ」の取組や当事者同士で支え合う「ピアサポート」活動、本人の思いを発信する活動などで社会参加を後押しする取組を進めていく。

問 介護人材の働きやすさについて伺う。

答 研修会等を開催し、介護人材の育成と働きやすい環境づくりに努めている。また、資格更新に係る費用負担支援について調査・検討している。ICTや介護ロボット等の活用、申請手続きのデジタル化等を進め、「業務の効率化」「介護サービスの質の向上」などの促進に配慮していくことが必要。

問 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の次期計画における本市の地域包括ケアシステムについて伺う。

本市の地域包括ケアシステムについて伺う。



答 地域共生社会の実現と、地域住民による支え合いの仕組み作りが課題。次期計画においても、包括的生活支援や移動支援が提供される、御殿場らしいきめ細かな支援の形を目指す。また、ヤングケアラー、老々介護など課題を抱えた家庭に対して重層的支援体制整備事業への取組を進める。地域に生きる高齢者一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らしている地域包括ケアシステムを目指し、次期計画に位置付けていく。



川上 秀範
ひでのり

新風
ごてんば



人口の増えるまちづくり 若者支援について

厚生労働省人口動態統計では2022年に日本で生まれた日本人の子どもの数は、77万人余であり、政府機関推計より10年ほど早いペースで少子化が進んでいる。この傾向が続けば、社会保障制度や国家財政の維持が厳しさを増すのは避けられず、本市も例外ではない。今後も活力あるまちを維持していくための取り組みについて伺う。

人口減少対策戦略について

昨年度末に庁内組織を発足。人口減少対策に関する施策戦略を8つのカテゴリーに分け、施策ごと積極的に進めていく。

18歳以上の学生・若者支援に 対する当局の見解は。

転出抑制を図るためにも、積極的な支援は人口減少対策として効果的であると考ええる。

18歳以上の学生に対する 通学支援以外の支援策は。

今後検討を要する施策として通学のためのシャトルバス運行や駅周辺駐車場料金支援、育英奨学金一部減免などがある。

人口減少対策に対する市長 の決意について

一番力を入れたいのは、子どもを安心して産み育てることのできる、子育てしやすい環境をつくっていくこと。子育て支援として、第二子以降の保育料完全無料化や高校生以下の子ども医療費完全無料化を、来年度からの実施に向け検討する。人口減少は一つの施策だけでは簡単に歯止めが掛からないが、粘り強く取り組んでいく。



富士山東麓エコガーデンシ ティ地域循環共生圏について

2市1町で認定されたこの 取り組みの全体像を伺う。

県から第1号の認定を受けた上で、地域全体で富士山麓の恵みを守り、先進的な御殿場型循環モデルを構築する。それは、国が運営するJクルレジット制度と本市オリジナルの地域通貨「富士山Gコイン」を活用し、市民活動を応援しながら環境と地域経済の好循環、SDGs、観光と経済振興、人口規模の維持拡大、デジタル戦略の強化等に取り組む仕組みである。

Jクルレジットとはどのよう な仕組みか。

省エネ設備の導入等により削減される二酸化炭素排出量や、森林経営により増加する二酸化炭素吸収量を、国の審査機関がクレジットとして認証することで、財産としての価値を生み出すものである。

最初に御殿場財産区様と 森林組合様にした理由は。



林 義浩
よしひろ

市民21



Jクルレジットの売却益を「富士山Gコイン」のポイントにするのが、御殿場型循環モデルの要となる。社会的意義、趣旨に賛同してくれる森林所有者、経営計画の策定、整備のできる協力者が必要だった。

御殿場型モデルは、どのよう に展開拡大していくのか。

このモデルは、富士山の自然をそのままに森林の計画的整備により財産が生まれるので、最初の15haから、さらに規模のまとまった森林へと拡大していきたいと考えている。すでにJクルレジット購入希望企業もあり、広くPRしていく。





本多 新次

市 民 21

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



現代のグローバル社会における学校教育の取組みについて

現在は海外の方と接する機会が多く、教育でも国際的感覚を持った人材育成は必要である。

学校の外国語教育の現状について

小学校3年生から外国語（英語）活動が必修化となり、会話のやり取りを多く取り入れ、コミュニケーションを重視した授業づくりに取り組んでいる。本市は、12人の外国人英語指導者を配置しており、生の発音を直接耳で聞くことができ、以前より生徒が身に着ける英語の発音は格段に良くなっている。

国際理解教育の現状について

3年生からの外国語活動の授業は世界のあいさつ、国旗や数字の言い方、食文化等様々な国を知り、触れる機会を設け、日本と外国との違いを学ぶことから始めている。



グローバル社会に向けた今後の学校教育の方向性は。

①「コミュニケーション能力」すなわち人間関係を築く力を育成すること。②「他者を理解し尊重する力」、多様性を尊重し思いやりや寛容な心を養う。③「協働して課題を解決する力」の育成、課題について話し合い協力し合って解決する活動を展開していくこと。④主体性や積極性、チャレンジ精神、協調性、柔軟性、責任感、使命感といった「メンタリテイ」の醸成が不可欠であり、これらを身に着けられるよう魅力ある学校づくりを推進していく。



辻川 公子

無会派

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



御殿場市の救急を含む医療体制について

御殿場市救急医療センター運営費や医療関連事業費合計7億3千万円余である。救急医療センターからの救急転送者は管内176名、管外439名であるが、救急要請時から病院到着所要時間は平均49.8分の中、安心・安全な医療体制を伺う。

市内2次救急病院の救急対応常勤外科医師配置状況は。

基本的に医師1名配置。

救急車による病院への平均搬送所要時間が全国平均よりかかることの背景と分析は。

救急出動件数の増加やコロナの影響などにより、搬送先病院がなかなか決まらないなど、負担は増大している。

御殿場市救急医療センター診療収入1億4400万円、運営額は約5億円であるが、経

営改善の努力も必要である。三島市人口約11万人で、救急2医療機関への市負担金は合計1億5千万円余など近隣市の救急状況を参考にしては。

他市町の医療機関の運営状況を参考に研究をする。

国立駿河療養所未使用病床の活用を県に要望しては。

自治体の個別要因での働きかけは難しい。

いくつかの病院を結合し、余剰病床をあわせて500床超の中核病院が必要との指摘がある中、県内・全国の事例を参考に、北駿地方の医療体制の検討をして頂きたいが如何か。

現時点で新病院建設のような考え方は持っていない。



9月定例会にて全会一致で採択された

「学校給食の無償化を求める意見書」を提出しました。



御殿場市議会



意見書要旨



衆議院議長 | 参議院議長
内閣総理大臣 | 総務大臣
財務大臣 | 文部科学大臣

01

今、相次ぐ物価高騰が家計を直撃している。経済状況の悪化及び物価高騰は、子育て世代に対し、経済・教育面で深刻な影響を及ぼしている。

02

本市では、4分の1助成に加え、給食食材費の補助している。

03

コロナ禍により自治体の財政余力は乏しく、無償化の実施が困難な自治体も多い中、国におかれては、地域格差がないよう全国的に学校給食費無償化に向けた法整備、支援を求める。

意見書全文は
こちらから
ご覧ください。



高嶺の森のこども園にて



やまなみ林道にて

議員全体 管内研修



date 2023/9/19



陸上競技場にて

令和4年度の決算に係る事業について、次のとおり
現地視察を行い、成果の確認を行いました。

エコガーデンシティ推進事業>やまなみ林道
民間社会福祉施設整備費等補助金>高嶺の森のこども園
SDGs推進事業>高嶺の森のゴルフクラブ
西中学校校舎改築事業>西中学校
陸上競技場施設改修事業>陸上競技場

令和5年
9月
定例会

議案の審議結果一覧



全会一致で可決等された議案	
決算 [8件]	令和4年度御殿場市救急医療センター特別会計歳入歳出決算認定について
	令和4年度御殿場市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
	令和4年度御殿場市公設浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和4年度御殿場市上水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
	令和4年度御殿場市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
	令和4年度御殿場市簡易水道事業会計決算認定について
	令和4年度御殿場市公共下水道事業会計決算認定について
	令和4年度御殿場市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算認定について
予算 [3件]	令和5年度御殿場市一般会計補正予算(第5号)について
	令和5年度御殿場市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
	令和5年度御殿場市公設浄化槽事業会計補正予算(第1号)について
条例 [1件]	御殿場市印鑑条例等の一部を改正する条例制定について
契約 [1件]	防災行政無線施設(簡易型戸別受信機)の取得について
その他 [1件]	市道路線の認定について
人事 [1件]	御殿場市教育委員会委員の任命について
専決処分の承認 [1件]	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度御殿場市一般会計補正予算(第4号)について)
議員提出議案 [1件]	学校給食の無償化を求める意見書の提出について
報告 [11件]	令和4年度御殿場市一般会計等健全化判断比率について
	令和4年度御殿場市特別会計資金不足比率について
	御殿場総合サービス株式会社の経営状況について
	専決処分の報告について(御殿場市営住宅の滞納家賃等の支払に関する和解申立てについて)
	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
	専決処分の報告について(御殿場市営住宅の滞納家賃等の支払に関する和解申立てについて)
	専決処分の報告について(御殿場市営住宅の滞納家賃等の支払に関する和解申立てについて)
	専決処分の報告について(御殿場市営住宅の滞納家賃等の支払に関する和解申立てについて)

賛否が分かれた議案		阿久根真一	永井誠一	辻川公子	高木理文	中島宏明	川上秀範	菅沼芳徳	林義浩	土屋光行	本多丞次	神野義孝	田代耕一	小林恵美子	勝間田博文	杉山護	芹沢修治	黒澤佳壽子	高橋利典
○…賛成 ×…反対 ※議長(菅沼 芳徳)は採決に加わりません。																			
令和4年度御殿場市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度御殿場市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度御殿場市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
御殿場市公設浄化槽の整備等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	×	○	○	※	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

市議会ホームページへ議案資料等の掲載しています。議案の内容を確認したい場合にご活用ください。



議長日記

御殿場市議会議長 菅沼 芳徳

スポーツ庁の室伏長官が本市を訪問されました。これは「スポーツ・健康まちづくり優良自治体」を2年連続受賞したことで全国唯一の長官訪問市となったものです。玉穂小、御西高校など訪問先での児童、生徒の人気は絶大でした。もちろん「ハンマー投げの鉄人」の柔らかさと優しさを垣間見た一日でした。

スポーツ庁の室伏長官が本市を訪問されました。

御殿場市議会議員選挙のお知らせ

投票日 令和6年 **2月4日** 日

【市議会だより(冬号)の発行日変更について】

改選に伴い、次号(冬号)の発行日が通常よりも1か月遅くなります。発行日は、令和6年3月6日(水)の予定です。

【政治家からの寄附禁止について】

選挙の有無にかかわらず、政治家(候補者・立候補予定者・現に公職にある者)が、選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合(親族等)を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。

みんなで守ろう三不運動。



贈らない。 求めない。 受け取らない。

3月

定例会の予定

3月定例会は2月19日から3月22日までの33日間の予定です。時間はいずれも午前10時からです。

22金	12火	11月	6水	5火	4月	22木	21水	19月
審議採決	付託議案・追加議案	6年度当初予算質疑	一般質問	一般質問	代表質問	6年度当初予算説明	6年度当初予算説明	市長施政方針・提案理由説明 条例・補正予算等審議

12月

定例会の予定

12月定例会は11月28日から12月13日までの16日間の予定です。時間はいずれも午前10時からです。

13水	8金	7木	6水	28火
審議採決	付託議案・追加議案	一般質問	一般質問	提案理由説明・条例 補正予算等審議

※いずれの日も傍聴することができます。当日、市役所東館3階の議会事務局で受け付けをいたしますので、お気軽にお越しください。
※正式な会期日程は直前の議会運営委員会で決定されます。

編集後記

当市議会では、開かれた議会を目指し、市民の皆さまに議会について少しでも知っていただくために、これまで「若者プロジェクト」や「御殿場市議会政治塾」などを開催して参りました。広報委員会といたしましても、広聴機能の強化・充実を図る目的で、視察研修等調査研究を重ねた結果、この度初めての試みである「議会カフェ」の開催に至りました。

参加者の皆さまから頂いたご意見等をもとに、今号の意見書提出欄は要点掲載とし、読みやすいレイアウトといたしました。今後、読んでいただける「市議会だより」をお届けできるよう精進して参ります。

広報委員 小林恵美子

御殿場市議会広報委員会

《委員長》 辻川 公子
《副委員長》 永井 誠一
《委員》 高木 理文 川上 秀範
林 義浩 神野 義孝
田代 耕一 小林恵美子
杉山 護



ご意見ご質問は議会事務局へ

TEL.0550-82-4323 FAX.0550-82-4326

御殿場市議会 検索

〒412-8601 御殿場市萩原483
市議会だよりには再生紙を使用しています。
印刷/有限会社 戸塚印刷所



ふれあいボックス